



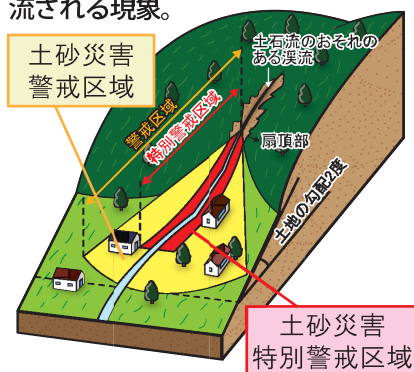
土砂災害

土砂災害は集中豪雨や地震などの二次災害として発生することが多く、大雨警報や大雨特別警報が発令された場合は「前ぶれ」に十分な注意を払い、避難経路が確保できるうちに早めの避難を心がけましょう。また、避難することが危険な場合は垂直避難を心がけましょう。

土砂災害の種類とその前ぶれ

土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって、一気に下へと押し流される現象。



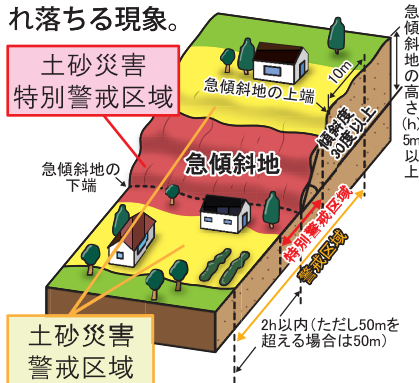
前ぶれ

- 地鳴りがする。
- 川の流れが濁り、流木が混ざりはじめる。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。



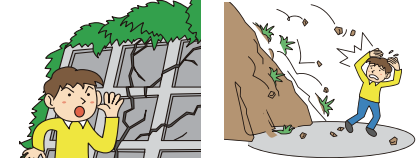
急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)

急な斜面の地面に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ突然崩れ落ちる現象。



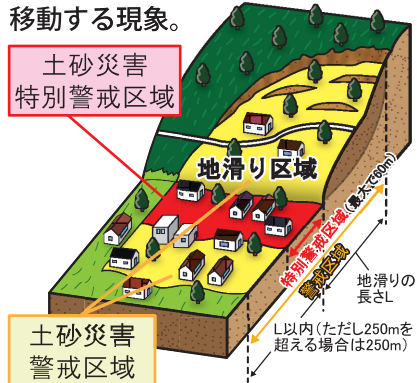
前ぶれ

- がけに割れ目が見える。
- がけから水が噴出する。
- がけから小石がバラバラ落ちてくる。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって斜面下方に移動する現象。



前ぶれ

- 地面にひび割れができる。
- 沢や井戸の水が濁る。
- 斜面から水が噴き出す。



土砂災害のときの避難の注意点！

1 避難の心得

- 早めの避難！
- がけの高さの2倍ほど離れた距離まで避難！
- 土石流の流れに対して直角方向に避難！



- 遠方に避難できないときは、斜面から離れた2階以上の部屋で安全確保！



2 前ぶれや災害情報を見逃さない

- 強い雨が降り出したら
- 大雨注意報・警報・特別警報が発表されたら
- 土砂災害警戒情報が発表されたら
- 前ぶれを感じたら

3 あらかじめ危険な場所の確認

土砂災害警戒区域
(通称：イエローゾーン)

土砂災害の恐れがある区域

土砂災害特別警戒区域
(通称：レッドゾーン)

建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域

※区域のイメージは、上の土砂災害の種類とその前ぶれを参照。区域の詳しい説明はP29に記載。